

# きざりの詩 あしたの詩



社団法人 日本作詩家協会年刊詩謡集

1989年版

KABUKIZA, TOKYO  
Shigetaka Saito

# 詩人の詩としての詩

社団法人日本作詩家協会年刊詩謡集

1989年版

## 序文

会長 石本美由起

一年に一度だけ

みんなが、それぞれに咲かせた花を

一つの広場に持ちよって

その彩りを競う。

それが「年刊詩謡集」である。

誰の出来栄えがいいか……、誰の作品に引かれるか……

想いはさまざまであり、評価もまた、異ると思う。

それでいいのです。

それぞれの花に、美しさがあれば

その彩りも、香りも

求める人の好みによって、価値感も違うだろう。

とにかく、みんなが集まるのが、大切であり、集まった

賑いの中から

お互に摺みとる刺激が

新たな創作意欲を燃焼させることになる。

先輩、後輩、ご同輩

どちらを向いても

親しい顔ぶれの揃っていることは

なによりも、嬉しい。

# 目次

〈氏名 五十音順〉

序	文	石本	美由起	一
酒場もよう	あい	たかし	三	
たんぼで音頭	愛川	あい	三	
父さん慕情	葵	昭人	三	
海燕	青木	三郎	三	
憂愁(夜想曲)	赤城	芙士夫	三	
女酒	秋	ひろし	三	
おんな大漁船	秋篠	さと	三	
せんちめんたる・あなた	秋田	泰治	三	
女の夢	秋山	哲三	三	
恋列車	麻	こよみ	三	
望郷よしやれ	飛鳥井	芳朗	三	
サロマ湖より	アベ	イチロー	三	
熱海旅情	天田	亨	三	
泣いてる鹿兒島	鮎川	公正	三	
トラック街道演歌旅	荒川	利夫	三	
わたしの明日はどこにある	荒木	忠雄	三	
北町しぐれ	荒木	良治	三	

小次郎時雨	有田	花外	三
おとこ海道	飯田	敏雄	三
おんな命火	飯田	悠介	完
港町さんげ唄	飯塚	義美	四
帰り道	石	一十	四
帰って来てね	石井	鐘三郎	四
ありがとう	五十川	式部	四
風が呼んでる	生田	恵子	四
夫婦傘	池上	信	四
流水の宿	池田	充男	四
あばずれ	生駒	かつゆき	四
風の渚	いけや	かつとし	四
曼珠沙華	石川	泰久	四
砂時計	石黒	忠	五
男の別れ	石田	六郎	五
情け唄	石本	久仁雄	五
一姫二太郎家	石本	美由起	五
愛の時を	いその	あきを	五
京化粧	井田	誠一	五
母子川	板倉	文子	五
ひとりぼっちのデュエット	市川	武志	五
愛の空間	伊藤	公一	五
仏たちの浄土	伊藤	悟	五
男の涙は	いとう	もりお	六

新鴻エレジー	稲葉	爽秋	六
竜宮街道	井上	融	三
みなと・恋みれん	伊野上	のぼる	三
かけこみ酒場	今里	修	六
山鳩	井村	昭治	六
マンガステイン・KIKO	井村	幸男	六
海の女房なら	岩崎	吉太郎	六
お七恋姿	岩瀬	ひろし	六
小樽の街から	岩田	小筆	六
心虫	岩田	道之輔	七
越前恋しぐれ	植田	竹雄	七
夢枯れの街	碓永	夕焼	七
あすなろの唄	内田	善士	七
のうぜん花	宇都木	正次	七
今夜あなたのバタフライ	宇都宮	美代	七
とんびにあぶらげ通せんぼ	宇山	清太郎	七
白い悲しみ	浦田	常治	七
冬海峽	江口	洗彗	七
桜組	海老澤	孝一	七
横綱人生(ウルフ太鼓)	大倉	芳郎	八
あなたの海峽	大崎	二子	八
人生櫓	大澤	陽央	八
手紙	大嶋	なほみ	八
母恋星	太田	寿耕	八

別れる時は……………	大沼	里栄……………	五
一年坊主……………	大橋	哲郎……………	六
歳月……………	大前	裕子……………	七
五番町夕霧楼より……………	大森	富士子……………	八
黒潮暴れん坊……………	大屋敷	正見……………	九
旅愁の宿……………	長内	治雄……………	一〇
みちのく恋景色……………	岡部	静子……………	一一
千貫松(せんがんまつ)……………	小川	淳……………	一二
男の遠い道程……………	小川	比富美……………	一三
逆風……………	奥村	和弘……………	一四
赤い靴の郷愁……………	おだ	みさを……………	一五
本牧ららばい……………	おち	としこ……………	一六
夢峠……………	落合	秀男……………	一七
一人ゆく……………	鬼塚	正憲……………	一八
どうせ人生……………	小野	都久……………	一九
時代漂流……………	小野	津加佐……………	二〇
今でも……………	おもて	やちよ……………	二一
母子川……………	小山	良……………	二二
待ちわびて郡上……………	折戸	勝史……………	二三
五番町夕霧楼……………	甲斐	新……………	二四
木文字・SOS……………	かとう	えつろう……………	二五
い い 冬……………	加藤	テル……………	二六
俺は稲作農家……………	加藤	完二……………	二七
口紅……………	叶	命恵……………	二八

白い灯台	神作	光志	二〇九
酒田望郷	河井	哲治	二〇〇
道中しぐれ	川西	美智子	二〇一
笑顔顔妻	河原	忠一	二〇三
置き去りの夢	北田	幸子	二〇三
螢火炎歌	木立	雄幸	二〇四
しあわせおんな坂	北野	彩	二〇五
黒潮哀歌	北原	いずみ	二〇六
それが別れになろうとは	木庭	武	二〇七
帰ってこない	北村	直之	二〇八
花街川(かがいがわ)	木村	壮吉	二〇九
真実一路女みち	木村	千代喜	二一〇
風祭	國井	ただし	二一一
花便り	久保	清江	二一二
御前崎慕情	倉島	雅三	二一三
女の別れ唄	黒川	良人	二一四
夜光虫	黒田	尨	二一五
漁港に生きる	河野	充伸	二一六
デスライダー	小池	虎夫	二一七
人情道	古頃	正章	二一八
気比の潮騒	越野	みのる	二一九
ヒフティーヒフティー愛(ラブ)	小島	香澄	二二〇
泣き虫波止場	小島	高志	二二三
愛のボヘミアン	小寺	紀代子	二三三



ふるさと七尾線	後藤	孝吉	二三
幸福	小林	佳恵子	二三
古城に菊は香れども	小林	金次郎	二三
酒とバラと	小林	須美子	二三
粉雪の宿	小林	たけし	三七
契り酒	こばやし	克至	三六
潮騒朝市港町	近藤	しげる	三九
異国	さいとう	大三	四〇
雪桜	坂本	順一	四一
からすとふくろう	佐久間	常夫	四二
飛鳥夢幻	桜	詩恵	四三
万葉の恋歌	桜井	諒	四四
愛のベイブリッジ	桜本	繁	四四
大衆酒場	佐々木	哲夫	四四
白い花びら	佐々木	安伸	四七
愛にはうわさが付きものなんだ	佐田	英介	四七
人生が、二度あれば	さとう	ひでを	四九
みなと舞	佐藤	邦夫	五〇
男泣き	佐藤	としかず	五一
一円玉	佐藤	進	五一
涙石	佐藤	英明	五一
十五夜花すずき	佐藤	秀千代	五二
逆節一代	佐東	たどる	五二
恋舟	里村	龍一	五二

元禄名残月(清水一角).....	さの	いわお.....一五
あ い つ.....	佐野	しずか.....一五
人生の坂道.....	佐野	昌一.....一五
雪見草哀歌.....	三丁目	高詩.....一六
三社祭り.....	椎名	英威子.....一六
浪曲夫婦旅.....	志賀	大介.....一六
津軽の踊り子.....	柴田	恒男.....一六
一番ブルース.....	柴田	よしかず.....一六
人形の女.....	芝山	和子.....一六
隠れ旅.....	嶋木	重雄.....一六
斗南の翼.....	寫	馨子.....一七
桜のごとき恋なれば.....	下地	亜記子.....一六
むらさき情話.....	下野	登美子.....一六
男海.....	秀生	明.....一七
風花の町.....	周東	敬二.....一七
サハリンの青い空.....	新保	治平.....一七
恋地獄.....	眇田	榮一.....一七
酒場母娘.....	菅野	政義.....一七
初船出.....	鈴木	きよ.....一七
ほゝえみはおまじない.....	鈴木	昭一.....一七
あなたはかもめ.....	鈴木	信也.....一七
風が遠くへ.....	鈴木	孝.....一七
浜降祭.....	鈴木	みつぐ.....一七
愛の黄昏.....	鈴木	れい子.....一八

ひとすじの愛	須田	茂樹	一八一
雪よなげ	炭谷	昌彦	一八二
三味線物語	関沢	新一	一八三
山鳩の啼く径	関沢	ただしげ	一八四
夢 紅 梅	瀬戸	千秋	一八五
愛するあなたへ……相馬から	相馬	詩彦	一八六
おまえだけ	高木	洋子	一八七
心の砂漠	高城	庸子	一八八
マイ・ドリーム	高田	エイ子	一八九
サラリーマンの詩	高野	一生	一九〇
愛染・吉野太夫	高野	礼子	一九一
三 回 忌	高畑	和之	一九二
西 郷 どん	高橋	テツ子	一九三
北辺踏査行	高橋	ゆきを	一九四
めおと節	高安	弘	一九五
モンゴル風雲録	多岐川	まさし	一九六
ほたる草抄	滝田	常晴	一九七
お盆 下町 入日時	たく	わん	一九八
夢のイルミネーション長崎	竹内	きよと	一九九
情むらさき	武井	征雄	二〇〇
はぐれ津軽節	立川	加根	二〇一
風 待 ち	館入	司	二〇二
みれん化粧	田中	衆兵	二〇三
海 の 鶴	たなか	ゆきを	二〇四

ぬれて原宿……………	雨……………	谷……………	としお……………	二〇五
おもいでざんげ……………	……………	たにはら……………	伸……………	二〇六
男泣き……………	……………	田畑……………	しげき……………	二〇七
座禅草……………	……………	玉利……………	要……………	二〇八
望郷の窓……………	……………	田村……………	和男……………	二〇九
恋市・うれし町・一番地……………	……………	筑紫……………	なも……………	二一〇
道頓堀情話……………	……………	千葉……………	幸雄……………	二一一
酒場舟唄……………	……………	塚谷……………	清一……………	二一二
春の雪……………	……………	津久井……………	ひろし……………	二一三
哀愁の若狭湾……………	……………	対馬……………	慎一郎……………	二一四
漁師……………	……………	津島……………	裕次……………	二一五
青空広場の「タネ屋」さん……………	……………	津田……………	辰臣……………	二一六
恋のとも綱……………	……………	土川……………	多恵子……………	二一七
花冷え……………	……………	土屋……………	正敬……………	二一八
いのち花……………	……………	堤……………	三郎……………	二一九
伊右衛門恋唄(新・四谷怪談より)……………	……………	角田……………	摩由子……………	二二〇
雪港……………	……………	つぼ……………	慶……………	二二一
三社宵宮……………	……………	寺輪……………	あき子……………	二二三
夏の思い出……………	……………	戸枝……………	ひろし……………	二二三
男なげき節……………	……………	戸田……………	富久子……………	二二四
やきとり一本下さいな……………	……………	外川……………	鈴武……………	二二五
男の真情……………	……………	鴛波……………	かずあ……………	二二六
いいこのいいこの子守唄……………	……………	徳永……………	みどり……………	二二七
若狭雨情……………	……………	鳥羽……………	貞子……………	二二八

醉芙蓉	豊原	史丈	三九
おうの	鳥居	紗衣	三〇
春くりや満開	長島	ゆたか	三一
柿	中野	和光	三二
歌磨情話	中野	惣太郎	三三
平成案山子	中村	弘	三四
新宿の二人	中村	よしかず	三五
日本海港流れ唄	中山	邦雄	三六
海に帰る人	中山	大三郎	三七
ん	那須野	巖	三八
命みちづれ	名月	秋太郎	三九
木喰仏は微笑ってる	成瀬	左千夫	四〇
愛のテーマ	仁井谷	俊也	四一
吾亦紅	沼川	淳	四二
青い詩集	根本	昌幸	四三
涙の岬	能丸	武	四四
あゝ定年	能勢	英男	四五
夫婦航路	のたき	ひであき	四六
想い出したくないの	野本	サカエ	四七
人生出逢いに乾杯を!	野村	耕三	四八
夢追い渡り鳥	橋間	哲也	四九
初島しぐれ	橋本	まさる	五〇
今夜だけ	長谷川	洋	五一
涙町流れ町	はげやま	清美	五二

能登恋情	はち	惣平	二五三
影身の女	花木	みつる	二五四
流す涙の味と色	はなぶさ・ひろし		二五五
年寿音頭	英	玲二	二五五
「風景」雨やどり	浜	一朗	二五七
銀山哀歌	浜	晃一	二五九
女の旅路	原	こうじ	二六〇
雅	原	文彦	二六〇
日傘の女	伴	主計	二六一
尼僧になろうかな	柀	たけし	二六二
POISON NIGHT	人見	敬子	二六三
恋夜舟	平井	健一	二六四
花の一本釣り唄	平川	正義	二六五
上総井戸掘り唄	平山	忠夫	二六六
ヨソロ ヨソロ	福沢	てつや	二六七
戻らぬ旅だよ人生は	藤	まさる	二六八
将棋士	藤枝	省一	二六九
ほれたんや	二木	葉子	二七〇
底力	文月	豊	二七一
ふたり坂	舟根	久夫	二七三
嘆き酒	ぶんいし	ふぜん	二七三
COME・OCTOBER	ぼく	はじめ	二七四
星占い	星合	節子	二七五
追分は俺の町	星川	成一	二七六

北 回 帰 線	星 野	哲 郎	二七
愛 の 終 り	細 川	ふ み 子	二七
雪 お ん な	ほ た る	翔	二七
心 ち ぎ れ て	堀 尾	恭 子	二八〇
絵 の お ん な	本 城	さ と る	二八一
は ま ゆ う の 宿	本 間	繁 義	二八二
あ の 子	牧	房 雄	二八三
北 の 便 り	牧 野	お さ み	二八四
江 戸 川 慕 情	益 田	清	二八五
飲 み 仲 間	松 井	由 利 夫	二八六
愛 …… あ り が と う	松 尾	和 彦	二八七
彼 岸 花 (悲 願 花)	松 尾	ゆ き を	二八八
天 井	松 崎	暎 子	二八九
虎 落 笛	松 田	郷 人	二九〇
駒 子 情 炎	松 平	史 紀	二九一
花 ぼ た ん	松 永	夏 女	二九二
た っ た ひ と つ の 命 だ か ら	松 本	敦 央	二九三
命 恋	松 本	撰 子	二九四
YOME And Shutome's Rock	真 田	幸 一	二九五
岬 宿	三 尾	孝 祐	二九六
伊 豆 の 恋 唄	幹	政 人	二九七
華 燭	美 貴	裕 子	二九八
野 良 猫	美 志 磨	優 樹	二九九
お ん な の 夜 曲	水 木	れ い じ	三〇〇





鬼ごっこ恋ごっこ	守田	英雄	三五
涙河	八木	吾郎	三六
わたしの栄町	矢坂	秀司	三七
若狭遣遥	やま	一央	三八
春の岬	山上	路夫	三九
ふるさとがあった	山北	由希夫	四〇
あいつどうしてるかな	山口	純	四一
雨おんな	山崎	有道	四二
豊漁丸	山田	孝雄	四三
さよならの街	山田	博康	四四
哀郷譜	山田	みとり	四五
ゆうぐれ・えんか	やまだ	りゅう	四六
しのび愛	山中	雅美	四七
女茶碗酒	山元	ひろし	四八
お兄ちゃん	友里	裕介	四九
相場場師	雪野	斗詩夫	五〇
すれちがい	横井	弘	五一
道祖神	横山	計江	五二
風の便箋	湯浅	としあき	五三
新宿海峡	吉岡	広己	五四
相乗り舟	吉川	満	五五
港の哭き女	吉田	旺	五六
紫式部	吉田	純治	五七
四つ葉のクローバ	淀川	詩朗	五八

妙高にて……………	若林	圭子……………	三〇
祖父ちやま……………	若林	澄人……………	三〇
ゆきずり波止場……………	若林	敏子……………	三一
華やかな秋の色彩のタッチを……………	渡辺	和於……………	三一
わかるわヨ……………	渡辺	桂太郎……………	三一
待ってるおんな……………	渡辺	蛍雪……………	三四

表紙画 一陽会会員 斉藤

茂(歌舞伎座)